

2021年7月26日

藤嶋先生といえば光触媒です

* 寄贈本紹介

江戸取図書館便り 7月1号



— 藤嶋先生関連 —



藤嶋昭先生(本校講演会6月24日実施)の著作・監修本を含む多数の本を 公益財団法人 東京応化科学振興財団様より寄贈いただきました ありがとうございます



『カモメのジョナサン』は、哲学的小説

☆寄贈本 78 冊
上段は、藤嶋昭著作・監修本
中段・下段と上段の一部は、東京応化科学振興財団 科学教育の普及・啓発助成の**推奨図書**です



だいしょ
*** 晩夏「大暑」(2021年7月22日～)**

つちうるおうてむしあつし
*** 大暑次候「土潤溽暑」(7月28日～)土が湿り蒸し暑くなる候**

*** 土用の丑の日(2021年7月28日)といえば、鰻の日です?**

土用とは、「暦法で、立夏・立秋・立冬・立春の前十八日をいう。その初めの日を土用の入りという。普通には夏の土用(立秋の前の土用)をいう」土用鰻とは、「夏の土用の丑の日に食べる鰻。夏負けしないという」(広辞苑)。あくまで俗説ですが、「土用の丑の日に鰻を食べると精がつく」と、江戸時代に平賀源内が、夏に売り上げが落ちるうなぎ屋に頼まれてこの宣伝文句を作ったとか・・・? (司書)



*写真左から、図書館から見た土手と雲(7月16日撮影)。写真中央は、茨城県立近代美術館(水戸市)いわさきちひろ展(7月24日撮影)。写真右は、美術館は偕楽園南側の千波湖・千波公園にあります(7月24日撮影)。*取手駅で、生徒たち(部活?)が降りました。車窓には夏の空と田園風景が広がってゆきます。いわさきちひろ展には、子供だけでなくおとも楽しい仕掛けがあります。美術館ではゆったり過ごすことをおすすめします。公園の日差しはまぶしくても風は心地よいです (司書)